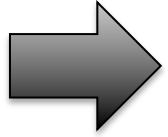


● 従来の写真教室のアプローチ

「この様にすれば、こんな写真が撮れる」

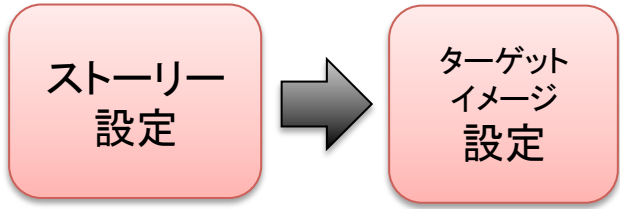


受講後

「あの技術を使って同じ様な写真を撮ろう」
「あの機材が無いから、あんなスタジオが無いから同じ様なのが撮れないな」

● Portrait School ワークショップのアプローチ

「こんなイメージの写真を撮るには、この様にしよう！」



ワークフロー重視(感性と技術のマッチング)



「あのワークフローで、自分のオリジナル作品を撮ろう」
「自分の機材を使いこなして自分に合った作品を撮ろう」
「作品ってまずコンセプトやストーリーを作らないとモデルに撮らされているだけだな」

